

## 2013 年度活動報告

定例研究会覚書—2013/01/12

2013/01/12

小松昭英（記）

日時 2013/01/12、1330-1800

場所 キャンパス・イノベーション・センター、612 号室（静岡大学東京事務所）

出席者（順不同）

青木一三、上草貞雄、神出 瑞穂、芝尾紘一、荻林成章、荒井康全、小松昭英（計 7 名）

（以下敬称略）

### 1. 研究発表

(1) オピニオンの発信に関する切り口と事例について 発表者 荒井康全

(2) 現代経済学の貧困 発表者 芝尾紘一

### 2. 合宿研究会の日程変更

日時 2013 年 2 月 21 日（木）—22 日（金）→22 日（金）-23 日（土）

### 3. 次回定例研究会予定

2 月 12 日（土）1330-1730、キャンパス・イノベーション・センター、612 号室

(1) 総合知にもとづく最適装置管理 玉木悠二

(2) 科学的方法論としてのエージェントシミュレーション

(3) 合宿研究会打合せ（発表者、スケジュール、パソコン、プロジェクトなど）

### 4. 定例研究会予定

2 月 9 日（土）1330-1730 キャンパスイノベーションセンター 612 号室

2 月 22-23 大日本印刷由比ガ浜荘

3 月 9 日（土）1330-1730 キャンパスイノベーションセンター 612 号室

### 5. 特記事項

荒井康全さんが本学会に入会

以上

定例研究会覚書—2013/02/09

2013/02/10

小松昭英（記）

日時 2013/02/06、1330-1800

場所 キャンパス・イノベーション・センター、612 号室（静岡大学東京事務所）

出席者（順不同）

青木一三、上草貞雄、芝尾紘一、荻林成章、荒井康全、玉木悠二、松田 順、杉山光裕、

小松昭英（計 9 名）

（以下敬称略）

1.研究発表

(1) 総合知によるリスク管理ー最適装置管理システムの紹介

玉木悠二

(2) 科学的意思決定

荻林成章

2.合宿研究会

日時 2013年2月22日(金)→23日(土)

場所 大日本印刷由比ガ浜荘

参加者 上草貞雄、芝尾紘一、青木一三、荻林成章、荒井康全、小松昭英、杉山光裕

神出瑞穂(要確認) 計8名

合宿日程

時間帯	22日(金)	23日(土)	備考
700		朝食	プロジェクト (青木一三)、 模造紙+α (杉山光裕)
800		荒井康全 小松昭英	
900			
1000			
1100		?	
1200			
1300			
1400	上草貞雄 芝尾紘一 青木一三		
1500			
1600			
1700			
1800		夕食	
1900	荻林成章		
2000			
2100			

3.研究会予定

2月22-23 大日本印刷由比ガ浜荘

3月9日(土) 1330-1730 キャンパスイノベーションセンター 612号室

以上

合宿研究会覚書ー2013/02/22-23

2013/02/24

小松昭英(記)

日時 2013/02/22-23

場所 大日本印刷鎌倉由比ガ浜荘

出席者(順不同)

青木一三、上草貞雄、芝尾紘一、荻林成章、荒井康全、神出瑞穂、杉山光裕、小松昭英  
(計8名)

(以下敬称略)

1.研究発表

(1) 権力を含むシステムモデル

上草貞雄

(2) 経済は循環であるー経済学の貧困

芝尾紘一

22日(金)		23日(土)	
1300		700	朝食
1400	上草貞雄	800	荒井康全 杉山光裕
1500	芝尾紘一	900	
1600	青木一三	1000	
1700		1100	
1800	夕食	1200	
1900	荻林成章 神出瑞穂		
2000			
2100			

(3) エネルギーと戦争

青木一三

(4) 社会システム科学におけるエージェントベースモデリング  
の科学的方法論としての意義

荻林成章

(5) 日本人の心とかたち—無自覚日本人考 補論

神出瑞穂

(6) 自民党憲法改正論を読んで

荒井康全

註 総合知の限界（小松昭英）は次回の定例研究会で発表する。

## 2.会計報告

今年度会計報告

杉山光裕

## 3.研究会予定

3月 9日(土) 1330-1730 キャンパスイノベーションセンター 612号室

以上

合宿研究会覚書—2013/03/09

2013/03/11

小松昭英(記)

日時 2013/03/09: 1330-1530

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612号室静岡大学東京事務所

出席者(順不同)

眞殿 宏、青木一三、芝尾紘一、荻林成章、小松昭英(計5名)

(以下敬称略)

## 1.研究発表

(1) 英国を救った科学技術者たち

決断科学工房 眞殿 宏

(2) 総合知の限界

小松昭英

## 2.研究会予定

未定

以上

合宿研究会覚書—2013/03/09 追記

2013/03/11

追記 /03/14

小松昭英 (記)

日時 2013/03/09: 1330-1530

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612号室静岡大学東京事務所

出席者 (順不同)

眞殿 宏、青木一三、芝尾紘一、荻林成章、小松昭英 (計5名)

(以下敬称略)

### 1. 研究発表

(1) 英国を救った科学技術者たち 決断科学工房 眞殿 宏

(2) 総合知の限界 小松昭英

### 2. 研究会予定

静岡大学東京事務所は2013年度まで継続されることになっていたとのことで、この一年間は利用できるとの事です。

4月20日(土) 「ケインズの乗数理論再考」 荻林成章

5月18日(土)

6月08日(土)

以上

研究会覚書—2013/04/20

2013/04/22

改訂 2013/04/25

小松昭英 (記)

日時 2013/03/20: 1330-1530

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612号室静岡大学東京事務所

出席者 (順不同)

吉澤均、芝尾紘一、荻林成章、上草貞雄、青井久幸、嶋田宏史、玉木悠二、松田 順、小松昭英 (計9名)

(以下敬称略)

### 1. 発表

(1) 今後の原子力技術立直しに関する処方書 吉澤 均

### 2. 学会誌

上草論文 英語タイトル変更

松田研究ノート 英文要旨の追加

### 3. 研究会予定

5月18日(土) 権力と公共関係の疫学診断 (公共主義社会 4) 上草貞雄

➡ 6月15日(土) ケインズの乗数理論再考 荻林成章

7月13日(土)未定

以上

研究会覚書—2013/05/18

2013/05/19

小松昭英(記)

日時 2013/05/18: 1330-1530

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612号室静岡大学東京事務所

出席者(順不同)

芝尾紘一、上草貞雄、荒井康全、松田 順、神出瑞穂、杉山光裕、小松昭英(計7名)

(以下敬称略)

### 1.発表

(1) 社会の疫学的自己診断

上草貞雄

次回以降の発表テーマについては、下記のように、既に荻林成章さんの発表が予定されていますが、本日の会合で、

- ・ 神出さんから「中国思想史と中国の今後」
- ・ 荒井さんから本日の上草貞雄さんの発表に関連して発表(上草談)

が提案されており、近いうちに調整する。

### 2.会費徴収

出席者全員から年会費 3000 円徴収

欠席者の方は次回以降出席の際支払い願いたい

### 3.研究会予定

6月15日(土)ケインズの乗数理論再考

荻林成章

7月13日(土)未定

以上

研究会覚書—2013/06/15

2013/06/15

小松昭英(記)

日時 2013/06/15: 1330-1530

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612号室静岡大学東京事務所

出席者(順不同)

芝尾紘一、上草貞雄、松田 順、神出瑞穂、青木一三、小松昭英(計6名)

(以下敬称略)

### 1.発表

(1) 中国思想史と中国文明のゆくえ

神出瑞穂

(2) 「自己言及と協働」場としての自然法

上草貞雄

### 2.報告事項

2012 年度総合知学会誌完成した。次回配付する。

杉山光裕

3.研究会予定

7 月 13 日 (土) (1) ケインズの乗数理論再考

荻林成章

(2) 上草貞雄さんの発表に関連して (?)

荒井康全

以上

研究会覚書—2013/07/13

2013/07/14

小松昭英 (記)

日時 2013/07/13: 1330-1530

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612 号室静岡大学東京事務所

出席者 (順不同) (敬称略)

芝尾紘一、上草貞雄、荒井康全、荻林成章、杉山光裕、神出瑞穂、青木一三、小松昭英  
(計 8 名)

1.発表

(1) ケイジアンマクロ経済政策の有効性検討—

エージェントアプローチによる解析とマクロ均衡理論からの考察

荻林成章

(2) トーマス・ホッブスを読む

荒井康全

2.報告事項

2012 年度会計報告

杉山光裕

2012 年度学会誌配付

杉山光裕

3.研究会予定

次回 9 月以降の日程は現在調整中、調整後に現場の予約を行う予定。

以上

研究会覚書—2013/09/07

2013/09/09

小松昭英 (記)

日時 2013/07/13: 1330-1530

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612 号室静岡大学東京事務所

出席者 (順不同) (敬称略)

芝尾紘一、上草貞雄、荒井康全、神出瑞穂、青木一三、松田 順、小松昭英 (計 7 名)

1.発表

(1) 目的論の構造を考える—カント「判断力批判」を読んで

2.報告事項

なし。

3.研究会予定

10 月 12 日 (土) 1330-1730、キャンパス・イノベーション・センター東京、

612 号室静岡大学東京事務所

11 月 09 日 (土) 同上、同上

12 月 14 日 (土) 同上、同上

以上

研究会覚書—2013/10/12

2013/10/12

小松昭英 (記)

日時 2013/10/12: 1330-1800

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612 号室静岡大学東京事務所

出席者 (順不同) (敬称略)

芝尾紘一、上草貞雄、荒井康全、神出瑞穂、青木一三、松田 順、杉山光裕、小松昭英  
(計 8 名)

1. 発表

(1) 目的論の構造を考える—カント「判断力批判」を読んで 荒井康全

(2) プラグマティズムとその宗教観 上草貞雄

同名配布資料付

2. 備考

参考資料配付 神出瑞穂

齋藤直樹 朝鮮戦争の休戦会談と休戦合意についての一考察

慶応義塾大学日吉紀要、人文科学、第 28 卷、pp.19-51、2013

3. 研究会予定

11 月 09 日 (土) 1330-1730、キャンパス・イノベーション・センター東京、

612 号室静岡大学東京事務所

講演 (1) 藤原正樹 宮城大学事業構想学部 教授

(2) 松田 順

12 月 14 日 (土) 同上、同上

講演 上草貞雄

以上

研究会覚書—2013/11/09

2013/11/09

小松昭英 (記)

日時 2013/11/09: 1330-1700

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612 号室、静岡大学東京事務所

出席者 (順不同) (敬称略)

藤原正樹、芝尾紘一、荒井康全、神出瑞穂、青木一三、松田 順、杉山光裕、吉澤 均、  
小松昭英 (計 9 名)

1.発表

- (1) 東北復興支援 e ビジネスモデルの創出 藤原正樹  
(2) リスク再考—事業（ビジネス）リスクを中心に 松田 順  
次回に延期

2.研究会予定

12月14日（土）1330-1730、キャンパス・イノベーション・センター東京、  
612号室、静岡大学東京事務所

- 発表 (1) リスク再考—事業（ビジネス）リスクを中心に 松田 順  
(2) 上草貞雄

以上

研究会覚書—2013/12/14

2013/12/14  
小松昭英（記）

日時 2013/11/09: 1330-1700

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612号室、静岡大学東京事務所

出席者（順不同）（敬称略）

芝尾紘一、荒井康全、神出瑞穂、青木一三、松田 順、上草貞雄、小松昭英（計7名）

1.発表

- (1) リスク再考—事業（ビジネス）リスクを中心に 松田 順  
(2) プラグマティズムとその宗教観 上草貞雄

2.研究会予定

日時 1月11日（土）1330-1730、

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、  
612号室、静岡大学東京事務所

1. 発表

- (1) 小松昭英  
(2) 芝尾紘一

2. 定例合宿研究会実施要領

以上

研究会覚書—2014/01/11

2014/01/11  
小松昭英（記）

日時 2014/01/11: 1330-1800

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612号室、静岡大学東京事務所

出席者（順不同）（敬称略）

芝尾紘一、荒井康全、神出瑞穂、青木一三、松田 順、上草貞雄、吉澤 均、小松昭英



(計 8 名)

1. 発表

- (1) ビジネスデザイン序説ービジネスモデルの成長 小松昭英  
(2) 拡張したアダム・スミスの原理 芝尾紘一

2. 研究会予定

月例研究会

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、  
612 号室、静岡大学東京事務所

- (1) 日時 2 月 15 日 (土) 1330-1730、  
発表 ソーシャルヘルス 上草貞雄  
(2) 日時 3 月 08 日 (土) 1330-1730  
発表 未定

合宿研究会

日時 3 月 31 日 (月) または 3 月 17 日 (月)  
場所 大日本印刷鎌倉由比ガ浜荘  
幹事 杉山光裕 / 松田 順

以上

研究会覚書ー2014/03/08

2014/03/08  
小松昭英 (記)

日時 2014/03/08: 1330-1800

場所 キャンパス・イノベーション・センター東京、612 号室、静岡大学東京事務所

出席者 (順不同) (敬称略)

芝尾紘一、荒井康全、神出瑞穂、青木一三、松田 順、上草貞雄、吉澤 均、  
森田富士男、村上忠良、小松昭英 (計 10 名)

1. 発表

- (1) ソーシャル・ヘルス 上草貞雄  
(2) 目的論理の構造としての「自由意志」と「因果性」を考える  
(カント「純粹理性批判」の文脈を通して) 荒井康全

2. 学会誌編集

(1) 絵画の挿入

本文の内容と対応するものであれば、その相乗効果が期待できる程度の大きさと挿入するものとする。

3. 研究会予定

(1) 合宿研究会

日時 3 月 17 日 (月) 1400-18 日 (火) 1000

場所 大日本印刷鎌倉由比ガ浜荘

幹事 上草貞雄

出席予定者 芝尾紘一、荒井康全、神出瑞穂、青木一三、上草貞雄、小松昭英  
(計6名)

(2) 定例研究会 (設定中)

以上

追記 2月15日(土)に予定されていた定例研究会は中止した。

合宿研究会覚書

2014/03/18

小松昭英(記)

日時 2014/03/17-18

場所 大日本印刷鎌倉由比ガ浜荘

参加者 (順不同)(敬称略)

幹事 上草貞雄

芝尾紘一、荒井康全、神出瑞穂、青木一三、小松昭英  
(計6名)

## 1. 発表

17日(月) 1400-1700

目的論の構造としての自由意志と因果性について

荒井康全

Social Health(2) ミード社会的行為論の一般化

上草貞雄

17日(月) 1900-2200

私の総合知ー民主主義は機能するか

芝尾紘一

インド・牛による複合生存システム

神出瑞穂

18日(火) 0830-1000

2014年度学会誌統一テーマについて自由討論(順不同)

始めるに当たって、荒井康全さんから別紙の

「荒井撰「近代学術思想のながれを考えると時の鍵になる50人」」

議論の始点 2050年の日本の心と形

・日本の議論に終始しない

・日本のおかれている環境を議論する

・科学技術社会を議論する

・ロジスティクスを含める

・第一次産業を重視する

などなど。

## 2. まとめ

時間管理の厳しい密度の高い合宿であった。

来年度学会誌統一テーマに、

「ジャパン アズ No.1」の再構築

**Re-Building “Japan as No.1”**

は、どうですか。いずれにしても、「統一テーマ」は、改めて定例会議で全員討議としましょう。

**Re-Building “Japan as No.1”**

は、どうですか。いずれにしても、「統一テーマ」は、改めて定例会議で全員討議としましょう。

拝

